

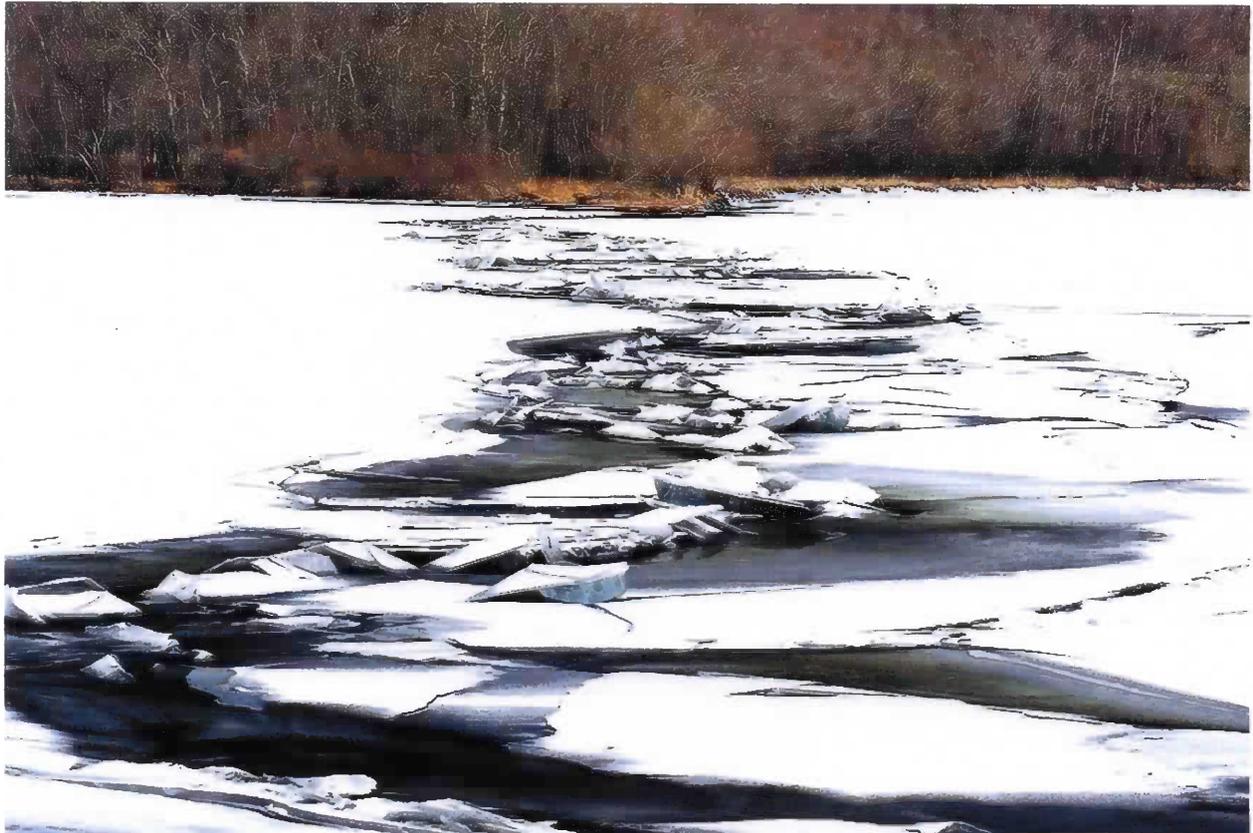
月刊 やちまなこ

2018. 1.15 発行

No.242

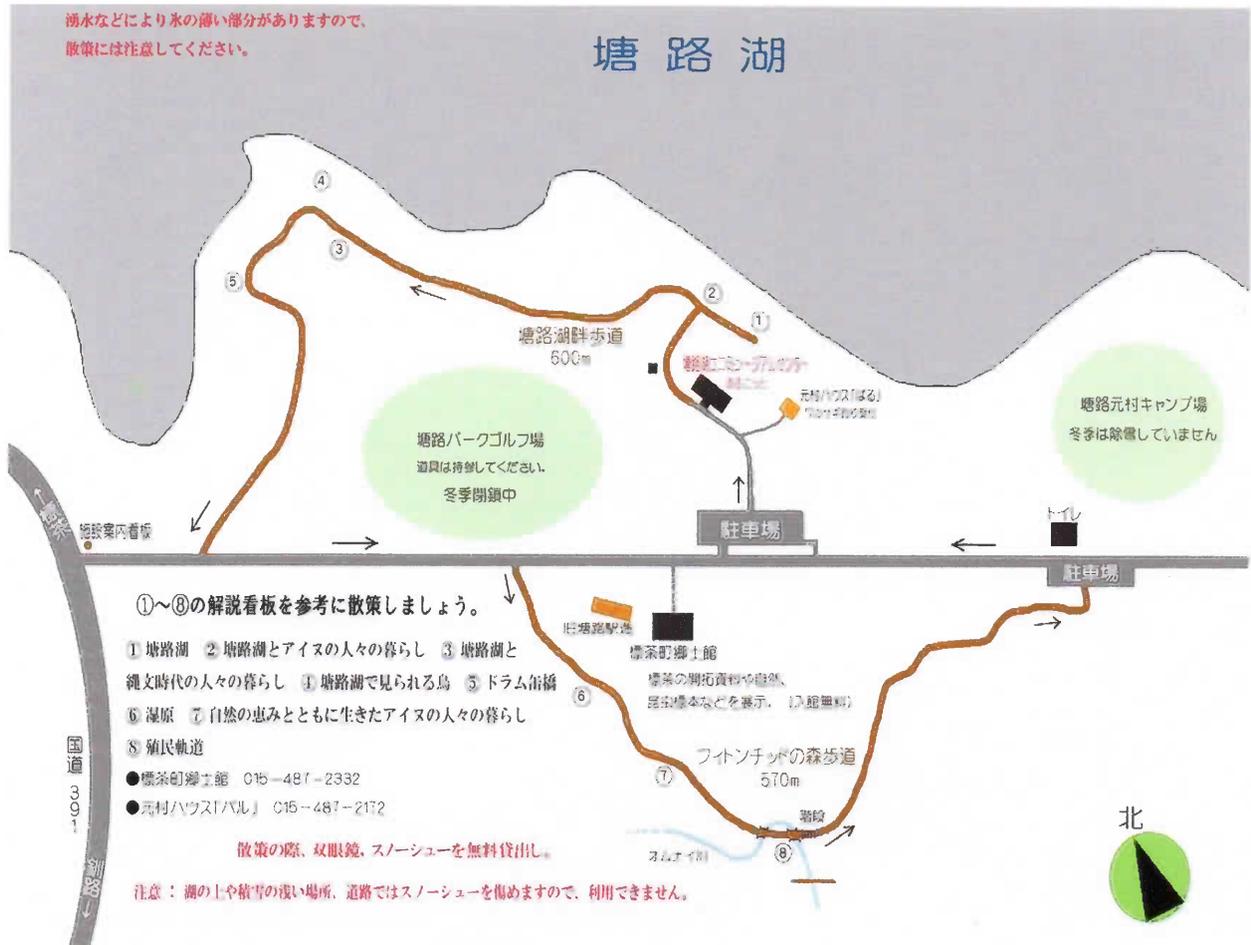
1月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

新しい年を迎え、冬景色の塘路湖に御神渡りが久々に現れた。結氷は例年より早かったものの、なかなかその兆しはなかったが、新年早々に氷が砕けた場所から黒々とした水面が顔を出していた。神様も御神酒が進んだせいか？かなり蛇行していた。時折氷が割れる音やドーンといった音、風が湖面を走る音など、様々な音が景色の中に混在していた。肌を刺すような冷たい季節風が鉛色の雲とともに通り過ぎ、ぼんやりとした太陽に向かうようにオジロワシの飛ぶ姿が見えた。



塘路フィールドノート【12/15～1/14】

【野鳥】

12月下旬、塘路湖に季節外れの雨が降りました。湖面が一部解氷したことで、塘路湖に戻ってきた水鳥もいたようです。現在湖面は再び結氷し、ワシがワカサギ釣りのおぼれを狙って上空を旋回する様子が時々見られます。



オジロワシ（塘路湖）

季節外れの雨の翌日、氷上で見つけた成鳥。水面を見つめて獲物を物色していました



タンチョウ（コッタロ湿原展望台）

草むらから突然現れたペア。食事に夢中でこちらには全く気づいていないようでした



ヒヨドリ（塘路湖畔）

センター周辺でよく見られます。5-6羽の小群で行動していることが多いようです。



ウソ（塘路湖畔）

センター脇で毎日のように見かける小群。日中ずっと獲物を探して動き回っています



（シマ）エナガ（塘路湖畔）

センター前の木で採餌中。この時期はカラ類と行動を共にしていることが多いです



ホオジロガモ（コッタロ湿原）

結氷していない釧路川で見つけた幼鳥。周辺では他にもカモの仲間が少数見られます

【植物】

例年より早く雪に覆われた塘路湖畔ですが、年末年始の暖気で雪はほぼ解けてしまいました。例年であればこの時期は雪の布団に守られている植物たち。記録的な少雪が植物にどんな影響を及ぼすのか気になるところです。



フキノトウ (塘路湖畔)

湖畔歩道の脇で顔を出していたフキノトウ。季節外れの暖気で春と勘違いしたようです



エゾトリカブト (塘路湖畔)

秋にセンター前で見事な花を咲かせた個体の枯れ跡。実もたくさんついていました



カラマツ (塘路湖畔)

まだ落ちずに残っていた松ぼっくり。野鳥やリスにかじられた？ような跡も見えます

◎冬芽を観察しよう！

この時期、塘路湖畔の樹々はほとんどが葉を落としていますが、それぞれの樹々は冬芽を出して来るべき春に備えています。そんな冬芽の観察はこの時期の楽しみの一つ。ふと見つけた冬芽から、夏は気付かなかった樹木の存在に気付いたり、冬芽の形を身近なものやキャラクターに見立ててみたり、一見寂しい風景が広がるこの季節、冬芽に注目して歩くと自然観察の楽しみが広がります。



ヤチダモ (塘路湖畔)



オニグルミ (塘路湖畔)



ハシドイ (塘路湖畔)



エゾニワトコ (フィトンチッドの森)



キタコブシ (塘路湖畔)



エゾウコギ (塘路湖畔)

■新年の空高く・・連凧作りを開催

6日、自然ふれあい行事「連凧を作って揚げよう」を開催しました。日本の凧の会会員の菊池利長さんを講師に今回揚げる凧について説明をしてもらい、各自凧に文字やイラストなどを描いたあと、竹ひごと糸を使い凧を完成させました。早速外に出て凧揚げに挑戦、微風ながらも色とりどりの連凧が釧路湿原の空に揚がりました。



■大漁を願って・・・ワカサギ釣りが解禁



塘路湖では5日から冬の風物詩のワカサギ釣りが解禁となり、週末を中心に各地から釣り人が訪れ、にぎわっています。氷にドリルで穴を開けて釣り糸を垂らしてしばらくするとキラキラと輝くワカサギが釣れ、「今日は釣果も良いので、てんぷらにします」と言っていました。期間は3月上旬まで(氷の状態では早まる)。遊漁料1000円。

受付はレイクサイドとうろ
(015-487-2172)へ。

2月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎釧路湿原フィールドウォッチング

[日 時] 2月10日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

◎歩くスキーで湿原ハイク

[日 時] 2月11日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 12/15(6:45,15:49).12/31(6:53,15:57). 1/14(6:51,16:12)

～編集後記～

■今年の冬は寒暖の差が大きく、早朝の気温が氷点下10度以上でも、日中はプラスになる日もありますが、観光で訪れた方には寒く感じられるかもしれませんが。今月下旬にはSL冬の湿原号が運行します。毎年エコミュージアムセンターでもその汽笛が聞こえ、いよいよ釧路湿原に冬の観光シーズンの幕開けを告げているようにも聞こえます。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料